

サンクリニック通信

第五十号

令和五年 十二月十日発行 住所 横浜市旭区柏町

★TEL 045-366-6821

病児保育室

サンクリキッズ

今年はいろんな病原菌やウイルスたちが活発になっとるのう。
インフルエンザにアデノに溶連菌…
みんな大変じゃったな。
よく頑張った！



今年は何年ぶりのインフルエンザ発生から始まり、感染性胃腸炎・RS ウイルス・アデノウイルス、まさかの溶連菌大流行、そして時々コロナ…

この3年うつる機会のなかった子どもたちの身体に、簡単に侵入してきましたね。中には同時感染（例えば溶連菌とインフルエンザ）しているケースも多くみられます。

この冬はあらためて基本にかえて、

手洗い・うがい・食事・睡眠など、出来ることからやってみましょう。

小児科院長を中心に続けてきたサンクリニック通信も今回が記念すべき第50号！

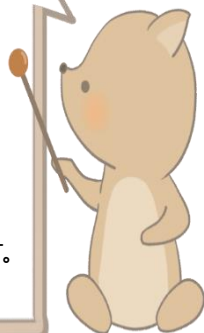
保育室記事をちょっと振り返ってみます→



病児保育室サンクリキッズより……………	1～6頁
アロマの香りで新年を迎えてみては……………	7頁
サンクリニック通信50号を迎えて……………	8頁
お母さんのための小児外科シーズン？……………	9～11頁
お知らせ……………	12頁

サンクリキッズの初記事は平成25年7月発行の第30号でした
精一杯のメッセージです。

こちらは
平成27年6月第32号
「病気の保育園」めざしています。



病児保育室に来るお子様は、咳や鼻水が出てつらかったり、お熱が高くて体がだるかったり、お腹を壊していて痛かったり等、通常の健康状態ではありません。その上、いきなり知らない保育園（みだいなこころ）に連れてこられ不安でいっぱいだと思います。そしてお父さん、お母さんも、病気の我が子を置いて仕事に行かなくはならないというのはいくらでも心配なことであり、子どもに対して申し訳ないお気持ちでいっぱいなのでしょう。

私たちはそんなご家族の気持ちを大事に受け止め、保育室での一日が少しでも病気の回復へつながるよう、また、お子様の笑顔がみられるような保育着議ができればよい、心掛けていきます。

（H25年7月）

春から仕事復帰をされたお父さん、同時に集団生活をすることになったお子さん、そしてそのご家族のみならず、今までの日常が一変してめまぐるしい毎を送っているのではないのでしょうか。

ただそれこそ自身の復職により新しい仕事や人間関係のストレスがかかる上、保育園との密なやりとりやご家族との関係性における精神的な疲れ、他の誰も代わってくれない家事の山、当然子どものお世話……そして保育園に入った途端、体調を崩す我が子。

「今までほとんど病気なんてしたことなかったのに。体温37.5℃以下ですぐ呼び出しなんて……そんなに仕事も休めないしどうしよう……」

働かながらの子育ては本当に大変なことです。そして多くの場合、

その負担はおかあさんに偏ります。ましてや病気になってしまった我が子を前にすると、ねばりかからず、不安でいっぱいになるのもお母さんですよね。

そんなとき【病児保育室】を堂々と利用していただく。

「子どもが病気なのに他人に預けるなんて、かわいそう」「なぜこういう外野の声はさうのとかわして。

どんなおかあさんもまず仕事が終わるか調整するはずですが、自分がだめならおとうさんと一緒に相談するはずですよ。それでもただだから病児保育室を選択していただくのです。

そんな、必死で子どもを育てているご家族の力になりたいと私たちは思っています。元気な時はいつもの保育園や幼稚園の先生方がよくみてくれます。

「病気の時はサンクリキッズの先生がよく知ってくれている……」

そんな保育室になれるよう、私達も日々勉強しています。

（H27年6月）

毎年春になると、切実なお悩みが寄せられます。



「春から職場復帰したけれど……

保育園から月に何度も呼び出しを受けてしまって……

母親が働いているのは、子どもにとってかわいそうなことでしょうか（涙）」

出産した後もお母さんは働くという選択をされたご家族は、想像以上にめまぐるしい毎日を送っていらっしゃるのではないのでしょうか。

ただでさえご自身の復職により新しい仕事や人間関係のストレスがかかるうえに、保育園との密なやりとりやご家族との関係性における精神的な疲れ……毎日の食事作りに、1日でも休むとあふれてしまう洗濯物の山、いくらやっても終わりの見えない家事……

そして保育園に入った途端に体調を崩す我が子、熱が37.5℃以上になると容赦なく呼び出しの電話がかかってきますね。復帰早々に早退をお願いしなければならないこの辛さ。必要以上に周りに謝って自分の仕事を同僚にお願いして……それが何回も続けば周りの反応もさすがに微妙になってくるかもしれません。いたたまれないですね。

日々お母さんたちには様々なプレッシャーがのしかかっていると想像できます。

そもそも復帰のタイミングから周囲（特に身内？）の心無い言葉に傷つけられてしまう方もいらっしゃるかもしれません。ましてや病気の子どもを他人（例えば病児保育室など）に預けるなんて『子どもがかわいそう!!』と非難されたり、されているように感じるくらい肩身の狭い想いをしていたり……

でも子どもが病気にかかるのは、“保育園に”入れたからではありません。集団生活に入ったからです。“家庭”というぬくぬくとあたたかい場所から、社会の中で生きていくための大事な一歩を踏み出したからです。その時子どもは必ず病気と出会い、ひとつひとつ抗体を得て身体を作っていくのです。これは誰もが通る大事な過程なのです。

だから幼稚園も保育園も関係ありません！ お母さんが罪悪感をもつ必要はないのです！

……そう励まされても拭いきれない気持ち……残りますね。これはもう抱えながら進むしかない。立場や世代の違いで受け止め方は様々。自分だって狭い視野の中でしか考えていないかもしれない。我が家で出来る精一杯の子育てをするだけだ、と静かに受け入れて目の前のお子さんをぎゅっと抱きしめてみたら、きっと力が湧いてくると思います。

(H30年6月第39号)

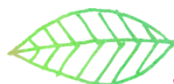


入園後に必ず突き当たる壁……
前もっての準備をお勧めしています



事前登録を早めにおきましょう

いざという時、急に当日ご連絡いただいても受付は出来ません。
いつかそのうち……と思っているうちに“その日”は突然やってきます！
郵送で手続きできますから、登録だけはしてしまいましょう。



病児保育セットを作っておきましょう

病児保育室は給食提供が出来ない施設がほとんどです。慌てて予約したものの
お弁当やおやつやら準備が大変……ですね。食事は彩りの素敵なお弁当にす
る必要はありませんし、市販のものでもかまいません。お皿に盛り付け直して
食べやすいよう工夫しています。着替え・おむつ・タオル等は、あらかじめ病
気時専用のかばんに詰めておくだけでも楽になると思います。



病児保育を利用するメリットに 目を向けていただければ…

「熱があっても元気に走り回ってるから……ちっとも休めてない」
「薬を嫌がってなかなか飲んでくれない……」
「どんどん悪化しているようだけど大丈夫だろうか……」

ご家庭での看護だけでは不安なことも、こちらで専門の保育士・看護師が
しっかりとケアいたします。病気の経過をご家庭と共有し、お子様の変化へ
迅速に対応してゆきます。

【病児保育を利用したから安心して看病できた】など、ご家庭に感じていた
だけようスタッフ一同心掛けています。

(H30年6月第39号)

病児保育室を利用するときは

「本当にどうしようもない時」

日々、さまざまなストレスにさらされながらなんとか回っている日常。その中の子どもの病気。

せつ自分たちだけではやりへの出来ない、そんな切羽詰まった状況で予約をしている方がほとんどだと思っています。

「子どもに申し訳ない……」という罪悪感をひしひしと感じながら私たちに預けてくださったというのだけ、このことを受け止め、せめてその時は「病気だからサンクリキッズに預けたんだ」と肯定していただけるよう、しっかりとした保育看護に努めています。



「いつもより早くお迎えに来るからね」

入室時不安そうにしているお子さんへ

優しく声をかけているお母さん。

その「早いお迎え時間」とは、

17時30分。

病児保育にとっては、お迎え時間ギリ

ギリの最終時間です。

だけど、その親子にとっては、いつも

より早くて嬉しく時間。

我が子のためです。

いつもお迎えは19時。

最終時間ギリギリの一番最後。

お迎えに行くのと、いつも先生に1対1

で相手をしていただきました。

もちろん病気の時は病児保育へ。

まだ熱の高い我が子を引き取り、夜通

し看病した翌日は仕事へ。

「今日も休めなくてごめんね」の想い

といつもより少し早い帰宅時間のおかげ

で過ごせる親子の時間。

先のお母さんもきつと、葛藤を抱えながらお仕事を続け、時間のやりくりを必

死で過ごしているのしょう。

「気管支炎」の診断で入室のお子さん。

でもすでに肺炎に近い症状を起しており、大きな病院へ紹介するとのこと。

すぐにお母さんへ連絡しましたが到着したのは3時間後。更にはお子さんに寄り添うより先に職場へ電話し、スタッフへの指示や業務の手配等、しばらく話し込んでおられました。

「このお母さんの姿も他人ごとではありません。自分を重ね合わせ、胸が痛くなりました。」

職場やキャリアによってはチームのリーダーだったり、あらかじめ予約を受け付けて顧客に対応する仕事だったの。

なかなか簡単には替えがきかない場合もあると思います。

「それでも子どもへの気持ちが一番ね」そう言われたら返す言葉もありません。当然です。

でも、自分の部下や職場への配慮をおろそかにするわけにもいかないですよね。

一番胸が痛んだのは、「このお母さん自身だったと思います。」

(R1年11月第4号)

サンクリキッズご利用の皆様へ



新型コロナウイルスが到来するまでは、順調に利用者数を伸ばし定員拡大もしてきたサンクリキッズ。コロナ禍では保護者の皆様の不安を反映し、一時は利用者9割減！という状態でした。存続の危機もありましたが、今また何とか通常運転に向けて奮闘中です。

まだしばらくご不便をおかけすることと存じますが、何卒ご理解いただけますよう、よろしくお願いいたします

1. 入室前に必ずサンクリニック小児科（発熱外来）で診察を行います。
症状の経過やご家庭周辺の状況を十分にお聞かせいただいた上で、原則新型コロナウイルス検査(NEAR法又は抗原)を受けていただきます。（15分程で結果が分かります。）
ただし、陰性であっても病状によっては、お預かりをお断りする場合がありますことを、あらかじめご承知おきください。
2. 同居のご家族に1週間以内に発熱あるいは咳・咽頭痛など症状があった場合は予約時に必ずお伝えください。経過によっては、コロナ抗原検査等をお願いすることがあります。
3. 保育室職員は検温・手指消毒を徹底し、毎日の健康観察に努めております。保育中はマスク・予防衣着用の上、手袋を装着させていただきます。
同居家族に体調不良があった場合は出勤せず自宅待機、検査にてコロナ陰性確認をしています。

サンクリキッズ

検索



アロマの香りで新年を迎えてみませんか？



暑い夏も終わり、早いもので新年が直ぐと近づいてきてしま
たね。

お正月の準備は進んでいますか？

このお正月は和の香りで新年を始めるといふのではなごころ
ようか。

和の香りと聞いて何を思い浮かべますか？

例えばヒノキ・ユズ・白檀はどうでしょうか

〈ヒノキ〉

ヒノキには多くの森林系の精油が含まれるα-ピネンという成
分が含まれていて森林浴効果をもたりますといわれています。
木のたくさん植わっている場所で深呼吸した時の心地よさを
ヒノキの精油を使えば家に居ながら体験できます。

〈森林浴効果〉

呼吸系（鼻や喉）の殺菌消毒

ストレス緩和

気分転換



ヒノキには消毒・殺菌効果があるといわれているので、お客様
がいらしたときにも、温かいおしほりに精油を1滴たらすと、手指
の殺菌とともに、ホッと息、木の香りに包まれると思えます。

〈ユズ〉



ユズの精油にはリモネンという成分が含まれます。

リモネンは胃の働きを活発化したり体を温める作用があるとい
われています。

冬至にユズ風呂は理にかなっているのです。

寒い日には浴槽に1〜3滴程入れてアロマバスはどうでしょう
か。血行が促進され冷えにも効果的です。

柑橘系の香りには心を明るくする効果が期待できます。

〈白檀〉



白檀は仏教などの宗教や寺院の儀式において古くから愛されて
いる神聖な香りです。

白檀の香りは精神に働きかけるといわれており、心や脳心が静
まり返ります。精神統一や落ち着きたい時には、なおよいと思
います。

1年のスタートは、気持ちのよい香りで幸運を呼び寄せませ
んか？

新しい年、あなたのご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

(受付事務・浦部幸裕)

サンクリニック通信50号を迎へ

サンクリニック通信は今回の号でちょうど50号になります。節目の号でしょうか。積み重ねて50回も続けられたのは我ながら大したものです。編集に協力してへくれる皆様のおかげです。

創刊は平成12年(2000年)になります。当クリニック開業は平成3年ですので、10年目を迎えるころ、そして20世紀の最後の年にスタートしました。その後20年余り続けています。その時そのころの情勢を加味した話題なども交えて、年間2〜3回発行しています。記事を寄せてくださった職員、非常勤の先生方、編集スタッフの協力があつて成り立っています。

2011年7月にはサンクリニック20周年を記念して『サンクリニック20年の歩み』を発行しました。サンクリニック創刊号から26号までをまとめて編集したもので、2500頁余りあります。改めて読み返してみるといろいろな出来事があつたことが思い返されます。

当時の昭和大学教授・小林昭夫先生、城南総合病院小児科医長・竹内瑞穂先生にもご寄稿いただいているので、外来をお手伝いいただいていたことが思い返されます。現在も隔週土曜日に来ていただいている八塚先生は、第2号に紹介文が載っているので平成12年12月ころからお願ひしているのですね。もう当院に23年も来ていただいています。最初のころは内科院長・相澤一喜にもたくさん寄稿してもらつたし、内科的な話題をいろいろ書いていただきました。生活習慣病のこと、地域医療に関すること。私も日頃考えていること、栄養や食生活に関すること、免疫力アップの方法、はやる病气、感染症についてなど。通信を見るいろいろな病気がはやつたことが思い出されます。新型インフルエンザが大流行したこともありましたね。現在の「コロナ禍」と比べれば、

大したことはなかったのですが。予防接種についても何回か取り上げました。また大震災があつて、防災や放射線について取り上げたこともありました。当院スタッフにも順番でタイムリーな内容を投稿してもらいました。医療保険制度、介護保険などについての解説、肩こり・腰痛などの症状に対処する方法を教えてくださいました。またアロマ専門のスタッフに手軽にできるアロマセラピーについて毎回寄稿してもらっています。

現在も八塚先生には子どもの外科的な病气についてシリーズで寄稿してもらっていますが、はじめは第6号(平成14年、2002年)からです。その時から毎号のように続けてくださっていて、私も随分勉強させていただきました。

その後病児保育室サンクリキッズが2013年に開所し、30号から保育室の様子も毎号掲載されるようになりました。小児科をお手伝いしてへくれる医師も八塚先生は変わりませんが、病児保育室開設後は若い先生に小児科木曜日外来をお願いしています。現在担当いただいている井川先生は4代目です。内科のほうも令和3年から相澤一貴医師に金曜日を担当してもらっています。サンクリニック通信では、新しい先生の紹介もしています。

「コロナ禍での情報共有にもサンクリニック通信が役に立っているのではないだろうか。病児保育室でのお預かりの方法が流行状況により変わっている点なども順次お伝えしていると思います。『20年の歩み』を出した時には、当然30周年には『30年の歩み』を出すものだろうと思っておりました。継続してサンクリニック通信を出していますが、「コロナ禍」たった中の時でしたので、『30年の歩み』については、考える余裕もありませんでした。でも数年以内には『35年の歩み』になるか『40年の歩み』になるかわかりませんが、発行したいものと思っております。

(小児科医・相澤扶美子)



◆忘れられない患者さん

外科に入院して2年目。病院の中の歩き方すら碌さへにわかってない私はただただ先輩の後に付いて回る日々が続いていた。そんなある日、巨大臍帯ヘルニアの赤ちゃんが入院してきました。生まれた産院では手の施しようもなく、そのままにされていたようです。けれども、看護婦さんがミルクをあげるとよく飲むし、吐くこともなく、腸閉塞症状もみられず、発熱もありません。お腹が空けば泣いて他の赤ちゃんと変わらないというのです。なんとしたものでしょうかと私どもの小児外科に相談がありました。今日では、「臍帯ヘルニア」は胎児診断されて、新生児の外科手術が可能な医療機関に母体搬送され、分娩後できるだけ早期に病状に合った手術を行うのが標準的なコースです。

ですが、なにせ50年近くも前のこと。日にちも経ち過ぎていたこの子には手術は適応されず、ヘルニア囊の皮膚化を促す目的でマーキュロクロームの塗布療法が選択されました。同僚のN君やF君らと交代で、囊が裂けないよう「赤チン」を毎日塗り続けました(☑1B)。thymol crystalしよう。(☑1C)のようじ、上皮化が進むに連れて、脱出臓器自体も徐々にお腹の中に収まって行ったのです。最終的には、みごくに皮膚で覆われ、「腹壁癒痕ヘルニア」の状態になりました(☑1D)。しかし、これでもお腹の壁としては不完全なのです。1歳半の時、根治的に腹壁閉鎖術が行われ、無事自宅に退院することができました。

日本小児外科学会では1964年から5年ごとに新生児外科の全国集計を行っていて、その現況が報告されています。2018

年(2828例)の報告では、症例数の多い順に、鎖肛(364)、食道閉鎖症(212)、十二指腸閉塞症(202)、消化管穿孔(196)、十二指腸以外の腸閉鎖症(192)、腸回転異常症(176)、横隔膜ヘルニア(168)、肥厚性幽門狭窄症(155)、ヒルシュスプルング病(91)、そして10番目に臍帯ヘルニア(86)が挙がっています。表1に「臍帯ヘルニア」という病気についてまとめました。

内臓脱出症という先天異常を持って生まれ、長期の入院を強いられたものの、後遺症なき生存にこぎつけることができましたが、我が子の退院を迎えたそのときの母親の思いは感無量のものがあったはず。身を削ってでもその後の無病息災を願わずにはいられなかったでしょう。そのYちゃん、今は嫁ぎ、一男を授かったと、当院まで挨拶に来られました。2011年のことです。母親とお子さんの3人で元気な姿を目のあたりにした時は、こちらも胸に迫るものを感じずにはいられませんでした。赤チンを塗り続けたあの赤ちゃん！と感動すると同時に、これで小児科医の役目がひとつ終わったような気がしたのでした。

(日本小児外科学会認定名誉指導医・八塚正四)

図 1

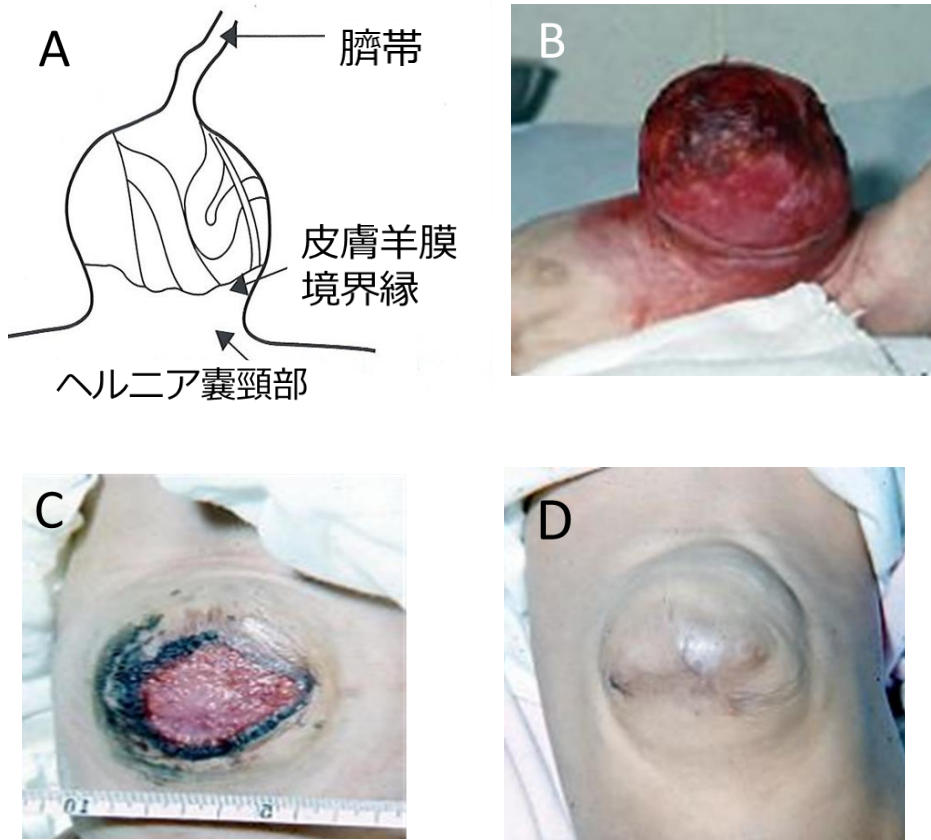


表 1 臍帯ヘルニア (図 1A)

病因：腸管還納不全説，腹壁(臍輪)形成不全説
病型：臍輪中心(2~10cm)，内容(肝・腸管)
頻度：1/2,500~5,000，性差：男>女
登録数：86例(2018)，出生前診断率：50~70%
低出生体重児：10~25%
染色体異常：11~25%(13,18,21トリソミー)
合併奇形：50%にみられる
治療：一期的・多期的閉鎖術または保存的療法 (AF/BG/GVの三色素塗布)など
手術死亡率：4.7%(4位，全体4.4%)

AF:アクリルフラビン、BG:ブリリアントグリーン、GV:ゲンチアナバイオレット
系統小児外科学第1版, 2001 & 標準小児外科学第8版, 2022 より引用改変



お 知 ら せ

年末年始のお休みは下記のとおりとさせていただきます。
お薬等の確認をお願いします。

☆内科、小児科とも

12月30日（土）～1月5日（金）

お休みとさせていただきます。

1月6日（土）からは通常通り診療致します。
なお1月7日（日）、8日（月・祝）
はお休みですのでお間違えなきようお願い
します。

☆病児保育室サンクリキッズは

12月29日（金）～1月8日（月・祝）

をお休みさせていただきます。

1月9日（火）より通常通り開所します。